



第56回小諸市

児童生徒新年書初め展

2月10日(水)・11日(木・祝)に

小諸市文化センターで書初め展が開催されました。



❖内容

p.16 第56回小諸市児童生徒新年書初め展

p.18 『みんなの宝物』

(高演虚子記念館／古文書調査室)

p.19 『わたしの宝物』 (与良区 小宮山 季)

p.20 『ぼくとわたしの作品』 (小諸東中学校)

p.21 3月小諸市文化会館スケジュールほか

3月、暦の上では春ですが、実際のところは吹く風もまだ冷たく、春の気配はまだ感じられずにいます。そんな中でも、梅や桜のつぼみはこの寒さに耐え、暖かな日差しを待ちわびてまた今年も綺麗な花を咲かせてくれることでしょう。

思い返せば一年前、思わぬかたちで迎えた卒業式。中止となったり、子どもたちだけが出席して行われたり、会場に入れなかった保護者の皆さんは、とても残念な思いをなさったことでしょう。

私自身、一年も経てば新型コロナウイルスは消滅していくのではないかと、いささか安易に考えてしまっていたのですが、この見えない敵はいまだに猛威を振るい続けています。今年に入ってから、新春から恒例行事も中止となってしまう、普段の生活にメリハリがないように感じているのは私だけでしょうか。

気がつけば卒業シーズン。また今年も、制限された中での式となってしまいかもかもしれませんが、お子様の成長を感じ、ご家族でお祝いでできれば素晴らしいことだと思います。そして来月には、進級や就職などできっと新しい出会いが待っていることでしょう。新しい仲間と楽しくおしゃべりしたり、親睦を深めるために会食をしたり、こんなことが普通に行えるようになるのを梅や桜のつぼみのようにじっと待ちましょ。そして新年度に向けて、新型コロナウィルスが終息したらどんなことがしたいか、頭の中で思いをめぐらせてみることで、前向きな気持ちになれると思います。

編集委員 高城 俊秀



第56回 小諸市児童生徒新年書初め展

新年への希望や決意を表現することにより、健全な精神の育成を進め、小諸の書芸文化の発展を目的に、本年も児童生徒新年書初め展を開催しました。開催日の2月10日(水)・11日(木・祝) 2日間には大勢の皆様にご来館いただきました。今年は528点の応募があり、その作品の中から市長賞をはじめとする特別賞に10点、特選に24点が選ばれました。

—— **特別賞** ——
 ※作品寸評 審査員長 成沢臨舟先生

市長賞 荻原中学校 三年 神谷 未来

澄心静慮
 三年 神谷 未来

大胆にして雄大、力強い重厚さ、墨量豊かで気力の充実を感じ安定感のある良い作品である。

市議会議員賞 小諸東中学校 一年 三石 結菜

将来の夢
 一年 三石 結菜

沈着冷静な運筆緊張感が心地好い、結体のよい書方味わい深く明るく品格の高い作品である。

教育長賞 水明小学校 六年 中本 葵

強い信念
 六年 中本 葵

落ち着いた筆運び、素直な線で、力まず、のびやかに書いて、まとまりの良い作品となった。

公民館長賞 小諸東中学校 二年 花岡 佳音

梅香る野道
 中二 花岡 佳音

スケールの大きい自在な筆運び、線の中に力が、みなぎっていて気持ち良い秀作である。

—— **特選** ——

- | | | | | | | | | | | | |
|------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|-------|
| 東小学校 | 美南ガ丘小学校 | 水明小学校 | 野岸小学校 | 美南ガ丘小学校 | 野岸小学校 | 水明小学校 | 野岸小学校 | 美南ガ丘小学校 | 水明小学校 | 坂の上小学校 | 野岸小学校 |
| 三年 | 三年 | 三年 | 三年 | 四年 | 四年 | 四年 | 四年 | 四年 | 五年 | 五年 | 五年 |
| 小 | 須藤 | 柳澤 | 月岡 | 伊藤 | 市川 | 宮尾 | 新津 | 大池 | 仲宗根 | 平川 | 北島 |
| 山 | みなも | 羽 | 花 | 蒼 | 和 | 音 | 花 | ひかり | 昂 | 結 | 峨 |
| 央 | | | | | | | | | | | |



展示会の様子



文化協会 会長賞 野岸小学校

強い信念
六年 高橋 彩花

校長会 会長賞 美南方丘小学校

正月の朝
五年 三木 夢

書芸連盟 会長賞 佐久平浅間小学校

新しい風
五年 大塚 舜

青少年育成会連合会 会長賞 東小学校

生きろる力
四年 萩原 新

社会福祉協議会 会長賞 千曲小学校

生きろる力
四年 山浦 虎雅

商工会議所 会頭賞 坂の上小学校

つよよい心
三年 福田 小晴

六年 高橋 彩花

穏やかな品の良さを感じる、しつかりした筆遣い
名前までバランス良く、格調の高い作品である。

五年 三木 夢

線は細いが起筆、送筆、終筆、折れ、筆遣いが見
事、明るく清楚で気品のある作品となった。

五年 大塚 舜

紙面いっぱい以太く、大きな文字で形よく、書初
めにふさわしいスケールの大きな作品である。

四年 萩原 新

墨量豊かでどっしりとした雄大な筆運び、風格の
ある線と文字の形が、見事な作品となった。

四年 山浦 虎雅

のびのびとした線の中に、力強く丁寧、一生懸命
に書いている姿が見える良い作品となった。

三年 福田 小晴

小3とは思えない温和な線と、端正な字形に心な
ごむ、初春の陽だまりの様な暖かい良い作品。

美南方丘小学校

美南方丘小学校

水明小学校

坂の上小学校

東小学校

美南方丘小学校

小諸東中学校

荻原中学校

小諸東中学校

小諸東中学校

荻原中学校

※【出品資格】市内に居住する児童生徒、市内の学校・書塾へ通学する児童生徒

五年 遠山

五年 三石

六年 神戸

六年 依田

六年 小林

六年 山浦

一年 月岡

一年 柳澤

二年 飯島

二年 乗附

三年 柳沢

季々

陽徳

響

介

詩音

涼花

真帆

美羽

沙那

朋花

遥

多くの力作が体育館を埋め尽くしました。



みんなの宝物



小諸高濱虚子記念館



高濱虚子は近代俳句の巨匠と言われ明治から昭和まで日本の俳句界のリーダーでした。太平洋戦争中、昭和19年から3年余、小諸の野岸に疎開していました。この間に詠んだ秀句は「小諸百句」と称されて高く評価され、そのほかの句も「続小諸百句」としてまとめられ、これも大好評でした。記念館にはそれらはもちろん、六曲一雙の大屏風や東山帖など、名句を自ら揮毫した作品が展示されています。ところで、虚子は俳句だけではなくエッセイや小説など、もたくさん書いています。その中に「虹」という短編小説があります。「虹」の主人公は森田愛子というひたむきで

年若い俳人です。

虚子は彼女に会って「虹立ちて忽ち君のある如し」と吟じています。愛子は病にめげず虚子を目標に俳句に打ち込みますが、31歳で亡くなってしまいました。虚子は「虹消えて忽ち君の無き如し」と歎じています。実際にあったことを基にして綴った短編小説です。円熟した虚子の深い思いやりと純でみずみずしい愛子の心の通い合いが伝わってきます。

本館ではその原本をガラスケースで展示しています。



【開館時間】 9:00~17:00
【休館日】 水曜日 ※祝日にあたる場合は木曜日 ※12~3月冬期休館

高濱虚子記念館 ☎0267-26-3010

小諸市古文書調査室

小諸城下町本町絵図

(本町塩川家文書)

本町を中心に描かれた絵図です。塩川家は、長く町役人を務め、江戸時代後半には、宿場の問屋と庄屋を兼ねていました。

小諸藩では、寛文10年(1670)当時の藩主酒井忠能



〈本町を中心に描かれた絵図〉

が行った寛文検地をもとに絵図が作られました。城下町全体の絵図は『小諸市誌』などで紹介されています。

絵図を見ると右上に「鍋曲輪」があります。現在は本町から市町へ曲輪を削って道があります。当時は中町へ迂回し養蓮寺前まで行き、市町の通りへ出ていました。

本町の通りは直線で、光岳寺前で荒町へ折れ曲がるまで続いています。きちんと町割り

りがされており、間口と奥行き、持ち主の名前が記されています。間口が10間以上あるのは、長作(本陣)や彦市(問屋)など少数で、ほとんどが5間から6間程度です。また町屋をはさむように馬場が2つあることも特徴的です。

図には書き込みがあり、実大寺などの由来がわかります。実大寺と詫応寺(応興寺)は寛永年中に美濃(岐阜県)大垣より移転したことが書かれています。

本町は、寛保2年(1742)の大水害「戌の満水」で大きな被害を受けました。一か所の貼り紙は、成就寺の下にあった寺院が流された後の様子が描かれています。

もう一か所の貼り紙は、祇園社とその周辺に2枚重ねてあります。祇園社が拡張整備されたことや尊立寺が移転したことがわかります。さらに寛政6年(1794)3月と記された紙があり、田町馬場の周辺の様子が描き加えられています。

絵図を見ることで、現在残っているもの、既に変わったものがわかり町の変化を感じとることができます。

※絵図の写真展示を古文書調査室入口にて行っています。

この『みんなの宝物』は、文化財・生涯学習関連施設の所蔵品を紹介するコーナーです。

所蔵品に関する話、秘話、至った経緯など「実はこんな話が」と伝えたいけれど、普段は説明する機会が少ないことから施設の館長や学芸員に作品について解説していただきました。



わたしの宝物



「夫の日記帳」

与良区 小宮山 季



夫は日記を付けていました。少年時代からあの年までの日記帳は、書斎の本棚に整列しています。夫の心と命が記されているこれらの日記帳を、夫の無量の遺産であると私は思っています。夫の日記帳はすなわち私の無上の宝物そのものであります。

少々付け加えるなら、日記帳の横には小手帳が連なっています。次の本棚には写真ブックが、さらに次には書物が整列しています。整理整頓をしていたのは夫です。ずっと昔からの佇まいです。夫の日記帳を宝物であると自負しつつも、つぶさに読むことはできず、奉つてきました。夫の許可なく日記を読む畏れ、日記を読んで悲しみに暮れる怖れ、2つの『おそれ』に揺れていたからです。必要に迫られ読むに連れて、『おそれ』は和らぎ夫の言葉は甦ってきています。「命に別状がなければ上々」は、夫の本質かつ常道であったかと思えます。後期高齢者となり、余生が迫りくる今からのち、夫の日記を読み切れることは、私の責務そして希望であります。あの年も夫は精力的に動いていました。1月「海応院、全宗寺、長勝寺へご年始・第55回六四新年会、来年56回目の同級会」万年幹事の一人で



桜の里親(夫婦ふたりで植えました)

した。3月「看護学校卒業式謝恩会」。4月「桜の育て方講習会、来年も参加しよう」小諸八重紅枝垂の里親でした。5月「田植え、美直ちゃんと手伝い6人、次は稲刈」。歳時記に沿って生活を大切にしました。6月「ドック受診、異状あり」。7月「〇〇君保護観察、病院面会室にて、〇〇君に良き人生を」保護司を務めました。更生し公正を重んじる社会人となっている彼らからの音信を、楽しみにしていました。8月「季には誠に申し訳ない」夫の辞世の言葉となりました。あの日からずっと私は命の行方を追っています。「誰が命を決めるのか、夫はどこに居るのか。」まだ答えに辿り着いていませんが、再会の挨拶はもう決めています。「幸雄さん、幸せをありがとう。」

五行歌

こもろ五行歌の会

土屋 英雄

● 八十路
越え

何故か
未来の
夢を追う

田沼まち子

● 老いても
春は春
心に
出てくる

希望の花芽

井出 正子

● 絵本の読み聞かせ中
えり一つとばしたよ
孫の鋭い声
覚えていたんだ!
悔るなかれ三歳児

● 剪定をしよう
ハサミを手に
赤い芽吹きが
始まっていた
うーん(又今度)

荻原 葉子

引地 よう

● 大きな
穴のあいた
僕の心だから
君の全てを
受け入れられる



「我ががクラスの底力」

二年四組

柳 やなぎ
琴葉 ことば



十一月五日(休)は、四組の記念の日だ。他でもない、二度目の合唱祭での受賞記念である。

曲を選んだのは六月。パート練習から始まり、合わせ、通しと移った。季節も夏から秋へと移り、十月初めに、目標回数を「二年四組最高！」で二百四十三回と決めた。本番は一日と近づいてくる。が、実情は全員の気持ちが揃わず、中途半端な状



態。それが本番二週間前まで続いた。しかし、そこから合唱潰けの毎日が始まった。二十分休みはもちろん授業前後、昼休み、さらには朝も早く集まって歌った。多い時には一日十回。ついにエンジンがかかった四組は一心不乱に歌った。

全員が意欲を固め、互いに呼びかけて練習に励めるようになった。他クラスとの交歓会でも火が付き、毎回自分たちの合唱と真剣に向き合った。目標は前日に達成、そして迎え

た本番。最高の合唱ができたと思う。ラスト、皆の渾身のクレッツシエンドは、体育館に長い余韻を残した。きつとそれは、会場の人々の心まで届いたはずだ。結果は金賞。私たちは喜びを爆発させた。三十二人の結束力は自分たちの想像をはるかに超えていた。それを、人は「絆」と呼ぶに違いない。

「私のやりがいというもの」

二年五組

田中 たなか
蘭 らん



中学二年生の三学期。将来を考え始める時期ですが、一途に何かになりたいだとか、向いていることだとか、そういうものは、まだはつきりはしていません。ですが、ただ一つ言えるなら、私はやりがいがあることをしてみたいです。

そう思うきっかけとなったのが、



委員会の当番活動です。本が好きなのは、図書委員になりました。当番活動は、限られた時間の中で仕事を終わらせる必要があります。一言で言っても、とても大変でした。私は始め、仕事もろくに覚えられず、委員会の中で役に立っているとは思えませんでした。しかし、初めて自分から行動して図書委員としての役目を果たせた時は、達成感に包まれ、先生に「助かった」と言われた時、とても誇らしい気持ちになりました。

「やりがい」というのは、「イコール大変なこと」かもしれません。ですが決して無駄なことではありません。やりがいを感じられるのは、そのことが自分にとって価値のあることだったからこそ、成果が出た時は、心から喜べるのだと思います。

はじめの話に戻りますが、将来、何かをやってそこにやりがいをみいだせる様なこと、そんな職業と出会いたいです。

「こんにちは」文化センターです！

全国公民館報コンクールで

“金賞”

受賞！

令和2年度
第8回全国公民館報コンクール受賞公民館一覧

賞	県	市町村	名称
金賞	長野県	小諸市	小諸市公民館
金賞	山口県	萩市	萩市生涯公民館
金賞	山口県	長門市	長門市徳山公民館
銀賞	宮城県	丸森町	丸森町生涯まちづくりセンター
銀賞	群馬県	みどり市	みどり市生涯公民館
銀賞	長野県	飯綱町	飯綱町公民館
銀賞	長野県	富士見町	富士見町公民館
銀賞	長野県	松川町	松川町中央公民館
銀賞	福井県	越前市	飯岡公民館
銀賞	鳥取県	船岡町	船岡町志々公民館
銀賞	沖縄県	那覇市	那覇市豊原公民館
銀賞	沖縄県	那覇市	市若狭公民館
審査員賞	福井県	小浜市	小浜市公民館
審査員賞	福井県	小浜市	小浜市公民館



小諸市公民館の広報誌『公民館報こもろ』が全国公民館連合会の主催する「第8回全国公民館報コンクール」で金賞を受賞しました。応募総数は148館、その中の最高賞の“金賞”ということで喜びもひとしおです！

各地域の行事や、趣味・特技を持つ方の紹介を8名の編集委員のみなさんが取材をして記事にします。委員のそれぞれの特技や能力が館報の紙面のあらゆるところに発揮されます。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、編集委員のみなさんが取材に出掛けられない状況でした。このような中で編集会議では「新コーナー」を検討して定期連載「みんなの宝物」「わたしの宝物」を始めました。

今後も地域に役立つ、毎号を楽しみにしてもらえるような『公民館報こもろ』の発行ができるよう頑張っていきますので、ご愛読よろしくお願いします。

開催しました！

12月12日(土)

小諸市星空観望会

冬の星座と惑星、そして極大日を迎えるふたご座流星群を皆で観測しました。当日は、老若男女問わず多くの方に参加いただき、子ども達は星空に願いを託していましたよ！



わたしは、キレイなながれほしがみたくて、行きました。ながれほしは、4つみれました。ながれほしをみて、思ったことは、速くっていっしょんがみれなかつたけど、とてもキレイで、はじめてみたくて、すごーいと思いました。スバルは、ほうえんきょうでみたら、いろいろな大きさのほしがたくさんあって、すごかったです。さむかつたけど、いってよかったと思いました。(参加者 Tちゃん)

小諸市文化協会より中止のお知らせ

乙女湖体育館において3月11日(木)～14日(日)開催予定の『第41回総合写真展』と、併せて13日(土)の『写真教室：スライド&トークショー』は新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑み中止いたします。

小諸市文化会館3月スケジュール

日・曜	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
4(木)	13:30	小諸市介護ささえ愛サポーター研修	小諸市高齢福祉課	0267-22-1700
7(日)	14:00	合唱部「感サート」	美南ガ丘小学校	0267-22-2000
25(木)	18:00	吹奏楽スプリングコンサート	小諸東中学校	0267-22-0595

受付開始日

【公民館・こもろ女性の家】 令和3年5月利用予約3月1日(月) (貸出備品含む)
【乙女湖体育館】 令和3年9月利用予約3月1日(月)
※文化会館ホールの令和4年3月利用予約は、ホール舞台装置の改修工事のため受付けておりません。ご理解ご協力をお願いいたします。